

内野なおきさんに期待します!

無料塾で自信取り戻し、希望校にも合格できました

私の孫は担任の先生から「進学は難しい」と言われ、悩んでいました。夏休みの無料塾での内野さんのアドバイスで徐々に自信を取り戻し、希望の高校に無事合格することができました。これまでの事がウソのように楽しく高校に通っています。何事にも親身になって頂ける内野議員を応援しています。(本町 山本敏子)



卒業式の出席が叶いました

新型コロナが流行しはじめた2020年。八小の卒業式に保護者が出席できないという通知が届き、ママ友達と「どうしよう!」と困り果てました。内野市議に相談したところ、私たちの声を何度も市教委に届けてくれ、保護者2名までの出席が叶いました。本当に感謝しています。(伊奈平 Y.A)

オスプレイは恐怖です

クラッチの不具合が解決されないままCV-22オスプレイが家の近くで飛び回っています。墜落するのではという恐怖、低周波音による健康被害にさらされて毎日生活しています。平穏な町、平穏な生活を取り戻すためにも、すぐに防衛省に声を届けてくれる内野さんに期待しています。(瑞穂町 佐々木めぐみ)

市議会になくはならない人

内野なおきさんは、市議会になくはならない人です。



住民の声・相談などにはいつも丁寧に向き合って解決している姿に励まされます。

徹底した調査と論戦で市政を前に動かしている内野なおきさん。引き続き市議会に送り出してください。(尾崎あや子 都議会議員)

困った人がいれば飛んでいく

困った方がいれば、市外の方でも飛んでいくのが内野なおきさん。優しさや行動力の人です。



一緒に取り組む横田基地オスプレイ訓練の騒音問題では防衛省から米軍に訓練場所の変更を求めさせましたが、未だ改まらず。引き続き内野さんと取り組みます。(宮本徹 衆議院議員)

私たちも応援しています

板谷 質重(武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会会長)
井上 忠男(三多摩健康友の会 武蔵村山支部長)
西山 哲哉(武蔵村山民主商工会会長)
根本かおる(女性後援会事務局長)
宮澤 良明(東京土建村山大和支部執行委員長)
宮地 秀彰(大南ファミリークリニック 所長)
吉田 重男(アスベスト原告団 共同代表)

(50音順)

市民の痛みを 取り除くために 全力!!

武蔵村山市議会議員

内野なおき (43)

作業療法士

うちの

こんにちは、内野なおきです。

この間、構造改革やアベノミクスなど、名前を変えながらも「新自由主義(弱肉強食)」。政策が進められ、子どもや女性、高齢者、障害者といった弱い立場の人にばかり「痛み」が押し付けられてきました。新型コロナや物価高騰で、その矛盾は、さらに拡大しています。

市民が安心して暮らしていくために、黙ってなんていません。引き続き、皆さんの力をお貸しください。

【内野なおき(うちのなおき)プロフィール】

●1979年 本町生まれ。長円寺保育園(現まどか保育園)、一小、一中、立川高校、国際医療福祉大学を経て、作業療法士として駒木野病院に7年勤務。●2011年に初当選して現在3期目。党市議団長。●趣味:野球、自転車、読書、ケーキ作り

戦争準備でなく 平和の準備を

「外国に攻め込む力を」と、大規模な軍事拡大に突き進む岸田政権。軍事に軍事で構えれば、横田基地のある武蔵村山市が標的にされる危険も高まります。

考えの異なる国を排除したり、不安をおおって戦争の準備を進めるのではなく「徹底的な話し合い(外交)」で平和の準備を強めることこそ、政治の責任です。



低空飛行するCV22オスプレイ



▲内野なおきHP

これからの武蔵村山を市民と変えたい

内野なおき ～3期12年の主な取り組みと実績～



「貧困調査」から子育て支援前進

粘り強く求めてきた子どもの貧困実態調査が実施され、子ども達の健康や学力、自己肯定感などに経済格差が生じている実態が明らかに…。

その後、「国保税の多子減免」や「地域未来塾」、コロナ交付金による「学校給食の無償化(期限付き)」など、他市よりも子育て支援が強化されました。

市民と一緒に公共交通を考える

党市議団の市政アンケートをもとに、昨年廃止された西部地域のMMシャトルの復活、「買い物や病院に通えない」「免許を返納すると生活できない」といった市民の声を届け、地域公共交通のあり方や、安心して住み続けられるまちづくりは、市民と一緒に考えていくべきだと求めています。

社会保険料の値上げに「待った」

国保税や介護保険料の値上げ条例案が出されても質疑や討論もせず賛成してしまう自民党や公明党に対し、市民の負担増にならない提案を求めてきました。国から国保の連続値上げ(財政健全化計画)が押し付けられる中、2021年には国保税率の据え置きが実現。同年の介護保険料の値上げ時も、基金4.5億円のうち、4億円取り崩し、値上げ幅を最小限に抑えています。

激変する横田基地から市民を守る

宮本徹衆議院議員や尾崎あや子都議会議員と連携し、米軍横田基地におけるオスプレイや戦闘機の騒音、パラシュート降下などの危険な訓練の中止を求めてきました。有機フッ素化合物の実態調査にも取り組み、改善を求めています。

内野なおき 6つのお約束

01. 地域公共交通の対策強化

モノレールの市内延伸と合わせて、買い物難民、高齢者の免許返納のためにも地域公共交通を改善します。

02. 「貧困の連鎖」を断ち切ります

- 学校給食費の無償化 ●子どもの医療費完全無料化
- 学習スペースの確保など、子どもの居場所づくり

03. 物価高騰から暮らしを守る

- 指定ごみ袋の負担軽減*消費税5%減税

04. 高すぎる社会保険料の見直し

国民健康保険税や介護保険料の値下げを国・都に働きかけるとともに、市にも責任を果たさせます。

05. 高齢者や障害者に優しい街に

- 補聴器の購入助成*特養ホームの増設
- ケア労働者の処遇改善

06. 米軍基地のない安全な街へ

- 横田基地の軍民共用の見直し*騒音被害の解消
- 基地周辺の有機フッ素化合物の原因究明

内野なおき ～生い立ちから日本共産党市議になるまでの3つの物語～

他人のために汗流す両親

日産自動車働く父と、ヘルパーの母の間に生まれ育ちました。

父は労働条件の改善のための組合活動で忙しく、運動会に顔を見せないことに疑問を抱くこともありましたが、働くようになってから「他人のために汗を流す、両親を理解できるし、尊敬もしています。」



認知症になっても忘れない「戦争」

高3の夏に祖父のお見舞いがきっかけで作業療法士を目指しました。資格取得後に務めた駒木野病院で、認知症病棟を担当。

数分前のことも忘れてしまう認知症高齢者が、戦争体験を克明に語る姿を目の当たりにし、認知症になっても忘れない「戦争」とは何なのかと思い、原水爆禁止世界大会に参加。戦争の悲惨さと愚かさを痛感しました。



日本医療の矛盾から入党を決意

病院業務の他に地域包括支援センターでの「認知症相談」も担当するようになり、経済的な理由で入院できない事例に遭遇。

「必要な医療もカネ次第」という日本医療の矛盾から、政治の役割を意識するようになり、日本共産党に入党しました。

その後「あなたの経験を活かさないか」と誘われ、30歳の時に市議選に挑戦し、初当選。市民生活を守るために市内を駆け回っています。